

■「市民活動マッチングカタログ」が完成しました！

ボランティア・市民活動マッチングプログラムの一環で企画した「市民活動マッチングカタログ2021」が完成しました。冊子の作成と併せ、データを当センターのホームページに掲載し、どなたでも閲覧やダウンロードができるようにしました。今回、特に情報を目にしてほしいと想定したのは、10歳代後半から20歳代前半の“ワカモノ”世代です。人や地域とのつながりのきっかけづくりを推進するこの企画に賛同し、掲載にエントリーいただいた登録団体は全部で25。当センターを加えた多様な分野の26団体・施設について、活動内容や場所、連絡先などの基本情報に加え、写真やアピールメッセージなども添えて、見やすく掲載されています。カタログは当センター内への配架はもちろん、市内の高校や大学・短大等をはじめ、主要公共施設にもお届けします。どうぞご活用ください！



■千葉市民活動フェスタ2021

100の思いを千の未来へ もっとつながるオンライン

11月の「千葉市民活動フェスタ」は、昨年の形式を更に進化させながら、オンライン中心に展開。密を避け、「離れて、つながるフェスタ」の準備が進行中です。

今回、ステージの発表会はありませんが、団体紹介の動画を収録する日を2回設定。きぼーるアトリウムには、今年も資料の配架コーナーやインターネット放送局を設置します。

今年は説明会もオンライン中心で実施。Zoom参加が困難な方のみ、予約の上センターにおいでください。(先着10名)説明会の様子は後日配信しますので、当日参加できない場合は必ず視聴してください。詳しくは「参加の手引き」(当センターホームページで公開中)をご覧ください。

【日程】開催期間：11月7日(日)～12月5日(日)

- 参加団体説明会 9月19日(日)【同日参加募集開始】
- 団体紹介動画収録会 10月31日(日)・11月6日(土)
- 資料の配架 11月20日(土)・21日(日)



Q&A 「一般社団法人って何ですか？」

2008年に法施行により誕生した法人格の一つ。設立時の社員数の要件は2人以上で、公証人による定款認証と登記だけで設立できることなどから、近年、市民活動を行う任意団体が、NPO法人ではなく一般社団法人を設立するケースも増えています。ただし、費用が約11万円かかることや、会費等の収入に課税されない“非営利型法人”になるに

は、さまざまな要件があるといった注意点があります。

ちなみに一般社団法人は、“私益”を目的に活動することも可能で、定款等が公開されていないと、外部からはどういった法人なのかわかりません。また、役員の役割(責任)が法律で細かく、重く定められています。行政への活動報告義務がないなど、一見、運営は楽なように思われますが、設立の際には注意が必要です。



ミニコラム

ちばさぽの風 vol.45

ワカモノと市民活動の“関係”

多くの市民活動団体から、人材不足やメンバーの高齢化が課題だという話を聞きます。「どうしたら若い世代に関心を持ってもらえるのか?」という相談を受けることもあります。正直、これらの課題に万能な解決策はなく、また誤解を恐れず言えば、良い活動だからといって、必ずしも若い世代が関心を持つとは限らず、このあたりのミスマッチもあるように感じています。

ていても、「市民活動やNPO」についての知識が不十分であると認識させられました。また「ボランティア」についてのイメージも、例えばゴミ拾いや災害救援、募金など、特定の分野の活動に限定されているようでした。

しかし、関心のある市民活動団体について調べるという課題を与えたところ、自分の好きなことや、生まれ育ったまちをキーワードに調べた学生が多く、「スポーツ分野の市民活動があるとは知らなかった」「子どもの時にお世話になった団体がNPO法人だと知って驚いた」などの感想の他、「NPO法人で働くことも選択肢の一つとして考えたい」という、なんともうれしいコメントもありました。これらはワカモノが市民活動に参加したり、関心を持ったりしてもらうためのヒントになるのではないかと感じました。

以下本コラムでは、概ね10歳代後半から20歳代前半の世代を“ワカモノ”と呼ぶことにし、ワカモノと市民活動の“関係”について論じてみたいと思います。

まず、ワカモノは市民活動に関わるきっかけが少なく、正しい情報が得られていない現状があると感じています。この問題がクリアされれば、今までは「関心がない」と言っていたワカモノが、市民活動に関わるようになる可能性は大いにあると考えます。

冒頭で「万能な解決策はない」と書いてしまいましたが、この頁に報告記事があるように、当センターでは、主にワカモノに市民活動団体の情報を伝えることをねらいとした「マッチングカタログ」を作成しました。団体の方もぜひご覧いただき、他の団体がどのような活動をしているか、どのようにワカモノに“魅力”を伝えようとしているかなどを、参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。(は)

当センターの業務ではありませんが、私はとある四年制の大学で非常勤講師を務めており、市民活動に関する授業を担当しています。その中で、多くの学生は「ボランティア」は知